

編集後記

話題のChatGTPに登録したので、早速「鹿児島市医師会医報とは?」と書き込んだら、瞬間に「鹿児島市医師会医報とは、鹿児島市医師会が発行している医療関係者向けの情報誌です。この情報誌には、鹿児島市内の医療現場での最新の情報や、医師会が行っている取り組み、医師会員の情報などが掲載されています。また、医療関係者の情報交換の場としても利用されています。」という模範的と言えるような回答があり、AIの進化の凄さを痛感しました。

誌上ギャラリーは、宇根文穂先生が撮影された「吉野山の桜」です。吉野山は麓から山頂へかけて、下千本・中千本・上千本・奥千本と呼ばれ、四月上旬より山腹の気温が上昇するのにあわせて、順番に山桜が咲き上がって行くので、春先の長い期間に桜を楽しめるのが特徴だそうです。吉水神社からは中千本と上千本の山桜を一望でき、「一目千本」と呼ばれる美しい桜の名所で、文禄三年(1594年)に豊臣秀吉は4泊5日で盛大な花見を開催し、「年月を 心にかけし吉野山 花の盛りを今日見つるかな」と詠んでいます。

論説と話題は、5月8日から感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変更される新型コロナウイルス感染症に関して、鹿児島大学の西順一郎教授による総説です。2019年12月に武漢で発生した新型コロナウイルス感染症の猛威は瞬間に世界中を席卷し、2020年のゴールデンウィークは全国に出された緊急事態宣言下で、“stay home” & “keep social distance”を合言葉にどこにも出かけずに過ごしたことが、昨日のこのように思い出されます。

学術は、いまきいれ総合病院脳神経内科の石田絢先生が「橋背側出血により左末梢性顔面神経麻痺とBurns眼振を呈した症例」と題した貴重な症例報告をして下さいました。末梢性顔面神経麻痺で最も多いBell麻痺を診たことはありませんが、外耳の帯状疱疹によるRumsay Hunt症候群による顔面神

経麻痺は皮膚科医なのでしばしば経験しています。

医師会病院だよりは、婦人科の山崎英樹部長から令和4年度診療実績と全国有数の内視鏡手術件数を誇っている現状を報告頂きました。マンパワーが増え、さらに良い環境で手術件数が増えることを願っております。

切手が語る医学は赤十字切手④、古庄弘典先生から美術史を通して最も人気がある風俗画家のひとりのジャン・バチスト・グルーズが描いた少女など4枚の切手を提供して頂きました、彼の作風がでた良品です。栗博志先生と濱田博文先生からは連載エッセイが届きました、ありがとうございます。また、リレーエッセイは鹿児島大学病院研修医2年目の池満仁司先生が、聖路加病院での2ヶ月の研修を通じて学んだことや感じたことを投稿して下さいました。鹿児島大学病院研修プログラムを利用して貴重な経験をされたようで、今後の医師生活の大切な財産になることでしょう。

各区・支部だよりでは、各支部の支部長からのご挨拶を頂きました。退任される支部長のみなさんはコロナ禍での支部運営に苦労された1年だったと思います。また、就任される新支部長のみなさんは、コロナ前のようにとはいかないでしょうが、新たな支部活動を模索する1年となりそうです、頑張ってください。

ChatGTPに「コロナ感染症が感染症法2類相当から5類に移行した後の社会生活は?」と質問をしたら「感染症法における5類感染症に指定された場合、厚生労働省や自治体は、対策をより強化することになります。」で始まり、2類相当であった今までと同じ対策がその後に続く回答があり、学習機会が少なく未知の問題への回答は難しいというAIの限界も分かりました。

(編集委員 島田 辰彦)